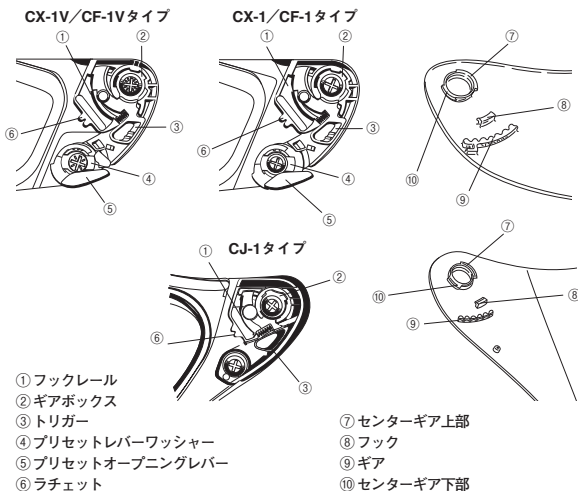


**[ビルトイン・メカシールドおよびQRシールドベース]のご案内**



**シールドの調整方法**

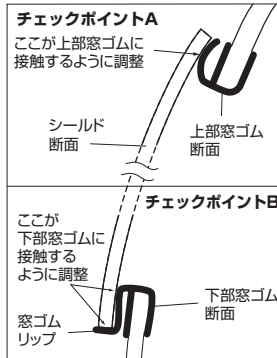
対象品：CX-1、CX-1V、CF-1、CF-1V

シールドまたはシールドベースを交換した際、シールドが窓ゴムに接触していない、または、閉まらない場合には、以下の方法でシールドベースを調整してください。

**チェックポイントA**

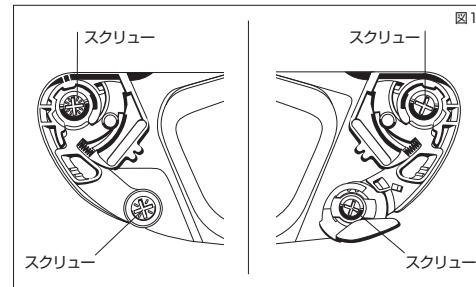
シールド上側の内側が窓ゴムと接していること。

**チェックポイントB**  
シールド下側のフチ部が窓ゴムリップと接していること。

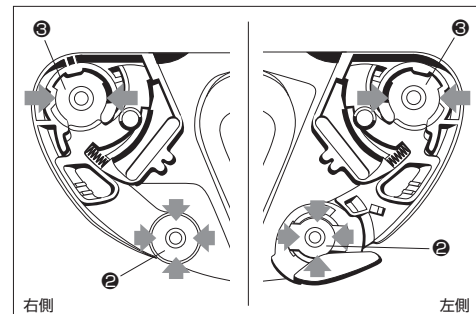


**■シールド下部にスキ間がある場合**

①標準シールドをはずし、左右2カ所ずつ(計4カ所)のスクリューを取りはずします。



- ②シールドベースの下部の穴を、スクリュー穴の上下左右の中心に合わせスクリューを締め付けます。
- ③次にシールドベースの上部の穴を、スクリュー穴の左右の中心に合わせスクリューを締め付けます。
- ④反対側のシールドベースも同じように締め付けます。

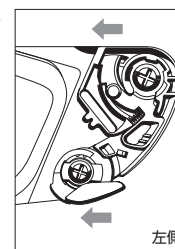
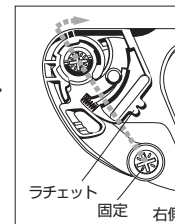


**シールドを取りつけて、まだ下部にスキ間がある場合**

⑤ヘルメット右側の下部のスクリューは固定させたまま、上部のスクリューをゆるめます。次に、下部スクリューを中心に、ほんの少し上部を前方に回転させスクリューを締め付けます。そして、再度シールドを取り付け、スキ間を確認します。

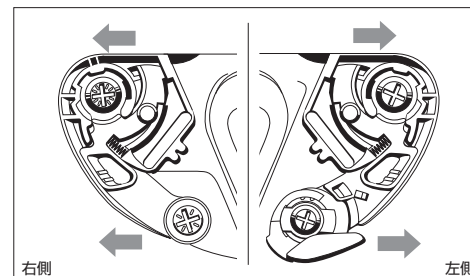
⑥スキ間が無くならない場合、「⑤」をもう一度行ってください。調整で回転させ過ぎると、ラチェットとギアのかみ合わせがずれてしまうことがあるのでご注意ください。

⑦「⑥」でまだスキ間がある場合、ヘルメット右側の上下スクリューを元の中心位置に戻し締め付けます。左側の上下スクリューをゆるめ、シールドベースを前方に平行にほんの少しずらしたのち、上下スクリューを締めめます。そして、右側を「⑤」から繰り返します。※左側のシールドベースの調整は平行方向のみで行ってください。

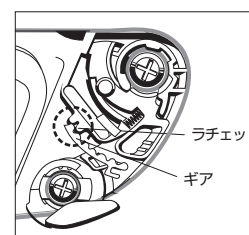


**■シールド上下部にスキ間がある場合**

⑧標準シールドをはずし、左右2カ所ずつ(計4カ所)のスクリューをゆるめます。(図1)  
⑨左右のシールドベースを平行に、後方にほんの少し動かします。シールドを装着し、上下のスキ間を確認します。下部にスキ間があいている場合⑤から⑦を繰り返し、調整してください。



⑩最後にラチェットとギアが正しくかみ合っているか確認してください。



**ご注意**

**■CX-1、CX-1VからCF-1、CF-1Vに交換してシールドが閉まらない場合**

CF-1、CF-1Vは2次曲面形状です。取り付けにはシールドベースの調整が必要な場合があります。また、これらのシールドは窓ゴムとの密着性を高める設計となっているため、標準装備の3次曲面シールドと異なります。完全に閉めるためには、シールド上方から強く押しさげて密着させる必要があります。

**■プリセットオープニングレバーの取り付け方の注意**

プリセットオープニングレバーを取りつけるとき、プリセットレバー・ワッシャーは、背の低い方を前、背の高い方を後ろになるようにセットしてください。  
※シールド、シールドベース及びプリセットレバーの交換の際は、必ず専用の部品をご使用ください。



**■シールドの取り扱い上の注意**

1. スモークおよびスモークミラーシールドでの夜間走行は使用しないでください(クリアーミラーはのぞく)。
2. シールドの汚れは、薄めた中性洗剤で洗い、水でよくすすいでから柔らかい布で拭いてください。  
※ベンジン、シンナー、ガソリン、ガラスクリーナー等で拭くことは、絶対にしてしないでください。
3. キズがついたり、汚れが落ちないシールドは視界を妨げます。新しいものに交換してください。
4. ミラーコートは、ご購入後の発色から色が変化する場合があります。

**ご使用前のチェック**

1. 使用する前には必ず、左右のシールドベース取り付けスクリューが締まっていることを確認し、ゆるんでいたら必ず締め付けてください。
2. 使用する前には必ず、左右のシールドベースのセンターギア下部とフックがロックされシールドが確実に取り付いている事を確認してください。  
※シールド及びシールドベースの取り付けが不十分な場合、走行中突然シールドがはずれたり開いてしまう可能性があります。ご注意ください。
3. シールドベース及び取り付けスクリュー等が破損した場合は必ず純正部品と交換してください。